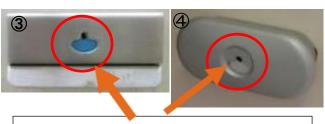
医療安全ニュース 10期/4号

再掲!再考!「トイレからの救出」 ~医療安全地域連携加算ラウンドチェックより~



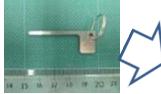
①②真ん中の溝にコインやマイナスドライバー などを差し込み、開く方向に回してください



③④赤い丸の中の小さい穴に専用のカギ(下図) を差し込み、ゆっくりと時計回りに回してください









● 2019 年 9 月~10 月の院内ラウンドにて

- 1. 今年度も医療安全地域連携加算ラウンド(連携病院間で相互ラウンドを行い評価する)の前準備として国立病院機構のチェックリストに準じ 108 項目について院内ラウンドを行いました。
- 2. 昨年と比較して指摘事項に目立つような差はほとんどなく改善されている項目も確認出来ました。そのような中、いくつかピックアップしておくべき項目もありました。そのひとつが「トイレ個室でカギの掛かった状態で人が倒れていたらどうやってカギを開けて救出するか?」という問題です。
- 3. 全部署ではありませんが、「どうやって開けるのか知らない」、「カギがどこにあるのか知らない」、「カギの存在自体がわからない」などがヒアリングの結果でした。

● 台風 19 号の避難勧告の出来事

- 1. 「台風 19 号の影響で利根川が氾濫する危険があるとして避難勧告が出された S 県 S 市で、市内の指定避難所 19 カ所のうち、2 カ所は<u>カギの所在を把握して</u> おらず、開けられなかった」と報道されました。
- 2. 状況は異なりますが、「イザというときに開けなければならないカギの所在がわからなかった」という部分は同じです。以下再掲しますので、今一度、各部署カギの保管場所と開け方など、スタッフ全員のご周知よろしくお願いいたします。外来部門などは近隣トイレのカギの状況を把握しておいてください。

● 再掲!「医療安全ニュース8期/13号」一部改変

- 1. 約 20 年前、他院において発生した<u>"患者さんがトイレに閉じ込められた事例"を</u>目にしました。内容は「①患者さんが意識を失った→②すぐに看護師が駆け付けた →③救出に手間取った」という事例で、患者さんは残念ながら亡くなられています。 その後、患者さんのご家族は「病院がスタッフにドアを開ける方法(解錠方法)を周 知しておらず、トイレからの救出に手間取った」として訴訟に発展したようです。
- 2. 訴訟の詳細はさておき、患者さんが意識消失や転倒するなどしてトイレに閉じ込められてしまう事例が全国で時々発生しているようです。
- 3. **当院でも 2017 年 5 月に患者さんがトイレに閉じ込められた事例が発生**しました。幸い大事には至りませんでしたが、ドアを開閉するのに若干の時間を要しました。理由は**解錠するための道具(カギ)の準備、解錠方法に不慣れ**なことでした。
- 4. 翌月、各部署には錠部の写真と解錠方法ついて写真付きでお知らせしていますがご記憶にありますか?カギの保管場所はご存知ですか?新入職員にも教えることができるように、部署内で改めてご確認ください。
- 5. トイレの解錠も患者さんの安全につながる大切な事柄です。医療安全管理室では解錠方法のレクチャーを承っています。

職員の皆様へ:お読みになりましたら下記ヘサインをお願いします。院内ラウンド時に確認させていただきます。